『烏帽子の会』山行記録

《月日》9 月 23 日（土）　　《天気》曇りときどき晴れ

《参加者》　　合計 15 名

《コース状況・その他周辺情報》

2019年の大雨で太古の森は通行止めになっていたが今年から全面通れるように整備されていました。ところどころ花崗岩で崩れやすいところはあったものの整備されて歩きやすかったです。
ただ水木沢自然林の中でも一番きれいなところと言われている沢に大きな木が流されていてまだ手付かずでこれから整備するということでガイドさんが残念がっていました。
前回にはなかったイヤホンガイドというものを使いました。ガイドさんが発信機私たち一人ひとり受信機を持ちイヤホンからガイドさんの説明が聞けるもので元気づくり支援金を使って購入されたそうです。友の会でも来年エントリーをしようと思いました。

《感想》

2015 年に続いて２度目のガイドさんをお願いしての水木沢自然林でしたが、ガイドの圃中さんがとても親切でやさしくまた降旗さんというガイドさんも同行して下さり安全に楽しく歩くことができました。
地元の方ならではの林鉄の話やタムシバの木はお祭りの山車を押すときに使うとか葉っぱは噛むとキシリトールの香りがするとか興味深い話がいっぱい聞けました。
何よりも自然の森の中で自然林と人工林の違いを感じたり、見た目は普通でもキノコが着いていると中身は弱っていて自然と朽ちて倒れ、倒れたところに空が広がり、光が入り次の植物が生まれるというお話を聞いて日頃の日常を忘れてとてもリラックスできました。また季節を変えて計画したいと思いました。
勉強したこと

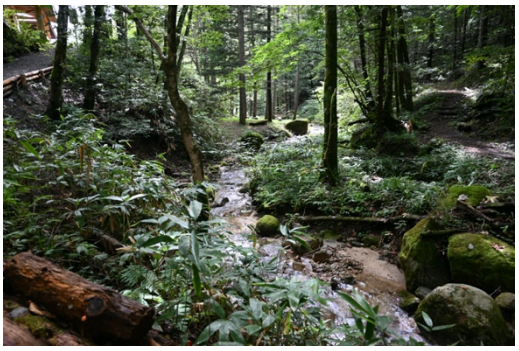
「木曽五木」・・ヒノキ・サワラ・ネズコ・アスナロ・コウヤマキ
木曽ヒノキと呼べるのは天然林だけで人工林はただのヒノキ

水木沢自然林にはアスナロとコウヤマキはない。木曽福島から南に行くと
アスナロ・コウヤマキはいっぱいある。

ヒノキはいい香りがするけど、サワラは匂わない。
サワラの木は水分を吸収するので住宅お壁材とかおふろ、すし桶等に使われる。

根あがりの木は倒れた木を養分にして育ってそのうちその養分の木が朽ち果てて空洞になった木
根あがりの木の森はとても不思議な雰囲気を醸し出していました。

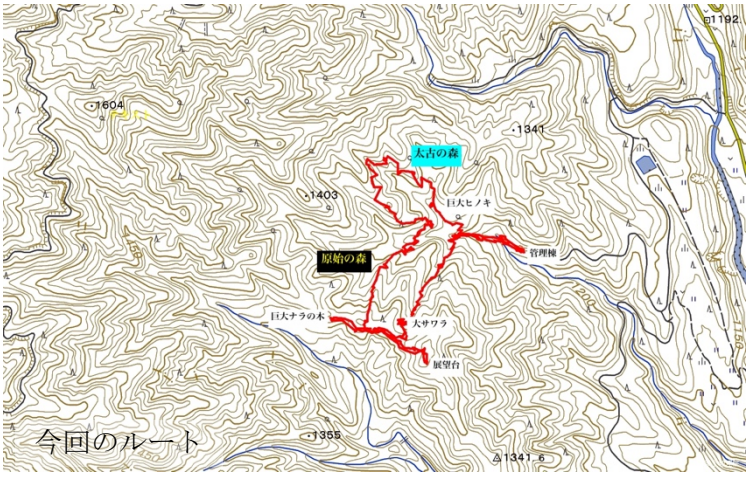
平成 20 年に名水百選に選ばれている。長野県では 4 か所
調べてみました。



まつもと城下町湧水群
飯田　観音霊水
木曽川源流の里水木沢
木島平村　龍興寺清水

以上 4 か所でした。

あと、自分で驚いたことはガイドさんに源頭部までは大変ですか？とかどのくらい時間かかりますか？とか聞いていましたが、2015 年に源頭部で集合写真を撮っていました。行ったことも忘れていました。
コースタイムは今回と同じぐらいでした。8 年の歳月を感じました。

それともう一つ60年に1度しか花をつけないというクマザサの花を見ることができました。これも圃中さんが教えてくれなければ何気に通り過ぎていたと思います。たぶんいや絶対今回参加した方が次の開花をみることはできないと思います。とても貴重な体験ができました。

《コースタイム》7：30 松川村道の駅集合～スイス村 5 名合流～塩尻島さん合流～9：20 水木沢自然林管理棟～9：40 原始の森～巨大ならの木～11：40 展望台（食事）～大さわら～分岐～太古の森～巨大ひのき～1：50 管理棟～
2：05 解散